

令和 8 (2026) 年度  
事業計画書

自 令和 8 年 4 月 1 日  
至 令和 9 年 3 月 31 日

令和 8 年 2 月  
(令和 8 年 5 月改定)  
公益財団法人中谷財団

令和 8 (2026) 年度事業計画書  
(令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで)

BME (Bio Medical Engineering) 分野～生命科学と理工学の融合境界領域～ (以下、BME 分野と略す) における研究・開発に対する表彰及び助成を行い、BME 分野の研究・開発の発展を図ること、加えて将来の科学・技術を担う人材の育成を図るため青少年に対する奨学、教育振興を行うことで、我が国及び国際社会の発展並びに生活の向上に寄与することを目的として次の活動を行う。

1. 表彰事業

BME 分野における優れた研究・開発の成果に対する表彰を行い、BME 分野の研究・開発の発展を図ることで、我が国及び国際社会の発展並びに生活の向上に寄与することを目的とする。

(1) 第 4 回神戸賞

BME 分野の独創的な研究・開発の成果に対して、日本人研究者を表彰する。独創的な発想に基づいたイノベーティブな研究・開発成果を挙げ、現在も活発な研究・開発活動をおこなっている研究者または研究グループを顕彰する大賞と、独創的な研究・開発に取り組んでいる若手研究者 (募集年度末 45 歳未満。但し、ライフイベントにより研究から離れた期間を考慮する。) に対する Young Investigator (Y.I.) 賞を公募し、選考の上で表彰する。

- ① 大賞 賞金 5,000 万円、副賞：トロフィー、1 件
- ② Y.I. 賞 賞金 500 万円、副賞：研究助成金を 5 年間で 4,000 万円、トロフィー、最大 3 名

(2) 第 19 回中谷賞

医工計測及び関連技術分野において、優れた業績を挙げ、現在も活発な研究活動をおこなっている研究者を顕彰する大賞と、独創的な研究を実施している将来有望な若手研究者 (2027 年 3 月末日時点で 45 歳以下) に対する奨励賞を公募し、選考の上で表彰する。

- ① 大賞 1 件当たり賞金 1,000 万円、1 件
- ② 奨励賞 1 件当たり賞金 300 万円、2 件

2. 助成事業

(1) 研究助成

公募により申請のあった BME 分野の研究・開発に対して助成する。次の 5 つのプログラムのうち、②～⑤を募集し選考の上で助成する。①は隔年募集のため、2026 年度は実施しない。

- ① 長期大型研究助成 1 件当たり助成金 5 年間で最大 3 億円、1 件

- ② 特別研究助成 1 件当たり助成金 2 年間で最大 3,000 万円、1 件
- ③ 開発研究助成 1 件当たり助成金 2 年間で最大 600 万円、17 件
- ④ 奨励研究助成 1 件当たり助成金 2 年間で最大 300 万円、26 件
- ⑤ 調査研究助成 1 件当たり助成金 2 年間で最大 300 万円、3 件

## (2) 交流助成

公募により申請のあった BME 分野の研究・開発の交流に対して助成する。次の 2 つのプログラムを募集し、選考の上で助成する。交流プログラムは年 3 回、留学プログラムは年 1 回公募を行う。

- ① 交流プログラム
  - 海外派遣 1 件当たり助成金最大 40 万円、36 件
  - 日本招聘 1 名当たり助成金最大 50 万円、28 名
- ② 留学プログラム
  - 海外留学 1 件当たり助成期間最大 3 年間、  
助成金最大 1,800 万円に加え、渡航費最大 30 万円、10 件
  - 日本留学 1 件当たり助成期間最大 2 年間、  
助成金最大 480 万円、3 件

## (3) 奨学金給付

公募により申請のあった BME 分野において博士号取得を目指す大学院生（博士前期課程・後期課程、一貫制博士課程）に対して奨学金を給付する。公募を行い、選考の上で奨学金を給付する。

- ① 博士前期課程 1 件当たり奨学金 12 万円／月、最長 2 年間、6 件
- ② 博士後期課程 1 件当たり奨学金 20 万円／月、最長 3 年間（4 年課程の場合は 4 年間）、5 件

なお、給付期間は、給付開始時より博士号取得までの最低年限とし、博士前期・後期課程を通して最長 5 年間（または 6 年間）とする。

## (4) 国際学生交流プログラム助成

日本および海外の大学学部生を対象として夏休み等を利用した短期留学で、大学の研究室に属して最先端の研究活動に触れると同時に、研修や交流活動を通して他の国の言語や文化を学ぶ機会を提供し、将来グローバルに活躍できる研究者の育成を図ることを目的とした助成を実施する。次の 2 つのプログラムを公募し、選考の上で助成する。

### ① 中谷 RIES\*プログラム

当財団とジョージア工科大学が協力して構築する交流プログラムに則り日米の学部学生を交換留学させる。交換留学に必要な渡航費・滞在費・授業料等の諸経費の全部または一部を助成する。

日本学生 11 名、米国学生 11 名

\*Research & International Experiences for Students

